

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

colussio KANDA

所在地	大阪府大阪市		
ホームページ URL	http://toshimi-jp.com//		
設立年	2006年	業種	企画製造販売
従業員数	1人	資本金	-

企業概要

2006年の創業以来、主にオーダーメイドの高級婦人服、並びに高級婦人雑貨を取り扱い、ポップアップイベントにて企画卸、販売応援を行ってきました。2016年末、初となる自社ブランド[KIWAKA]をリリース。独自に開発した“iTOP（アイトップ）”と名付けたエレガントなファスナー引手がブランドの特徴です。「本物に拘りたい・今迄に無い価値をお届けしたい。そして、あなただけの遊びゴコロをくすぐりたい」という思いから2019年末、“iTOP（アイトップ）”をジュエリーで製造したラグジュアリーブランド「TOSHIMI」を新たに発信

TOSHIMI
Made in JAPAN

自社の強み

他社ブランドと差別化できる高級品を目指す中、カジュアルになりがちだったファスナーの機能性をどうしても使用したいという思いから、2016年には、各分野でご活躍の高度な技術を持つ若手職人さん達とチームを組み、今までに無いエレガントなファスナー引手の開発をスタートさせました。

（特許申請意匠登録済み）独自で開発し【iTOP】と名付けた特徴あるファスナー引手を、一般的な「便利な部品としてのカジュアルなファスナー」から「社交界でも通じるエレガントなファスナー」に仕上げ、高級服飾雑貨と宝飾品の両方を兼ね揃えたブランドとなるよう、ブランドの要として他社との差別化を狙います。



一押し商品

《TOSHIMI》Golden roseシリーズ

構想から約4年を費やし《TOSHIMI》のファインジュエリーは、唯一無二の新しい価値観をお届けします。

蕾が綻び始めた薔薇をイメージしたデザインのジュエルジップトップは、K18イエローGOLDのボリュームと、花びらに散りばめられた2.2ctのダイヤモンドの輝きが、凛とした美しいフォルムに仕上がっています。現物のサイズは、花径約28mm、その高さは約27mm。金の量も約60g使用しており、ひととき大胆でインパクトのある存在です。

また、高品質なクロコダイルスキンを日本の高い技術力で鞣した「革」。これを贅沢に2頭分使ったクラシカルなパーティーバッグのフォルムは、和装洋装問わずお持ち頂けます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

オリジナルブランドを立ち上げるに当たり、どこから手を付けたら良いか悩んでいる際に、大阪商工会議所の経営相談室に訪れ、創業支援を受けたと伺いました。その創業支援を受ける中、ブランド名について、商標登録した方が良いとの創業支援担当者からアドバイスを受け、連携先である知財総合支援窓口へ相談にいられました。

最初の相談概要

当初、商標登録出願を検討していた「OBBIJIN」のロゴ・マークについて、先行商標の調査方法や出願の方法等、知財の権利化について支援しました。その後、プロジェクト名となる「OBBIJIN」のロゴ・マークは無事に商標登録に至りました。

その後の相談概要

ブランド戦略として、TOSIMIブランドをメインに国内外展開することとなり、商標登録や意匠登録の支援を行い、海外へ商標登録を行いました。

窓口を活用して変わったところ

ブランド名を商標登録することが重要であるとの認識は、相談にいられた時からお持ちのようでしたが、商標権取得と、ブランド戦略の難しさを感じているようでした。しかし、当窓口や他の連携機関の支援を受けることで、自社ブランドを確立され、現在は大手ホテルにも出展しております。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商標登録を自身で行うとは夢にも思っておりませんでした。知財総合支援窓口担当者の丁寧な説明と指導のお陰で、只今、商標登録済2件と意匠登録出願中1件です。本当にお世話になっております。このような素晴らしい相談窓口が有る事を多くの方に知って頂きたいですし、是非活用して頂きたいです。

窓口担当者から一言（氏名：大澤 真一）



創業予定をされている方は、創業準備に時間を追われ、屋号やブランド名の商標登録を後回しにされることが多いと思います。よく、事業が安定してきたので商標登録をされたいと相談にいられる方もおられますが、すでに他者が商標登録をしていて、商標を変更せざるを得ない場面に出くわします。そうなる前にまずは、当窓口にご相談下さい。

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

colussio KANDA

所在地	大阪府大阪市		
ホームページ URL	http://toshimi-jp.com//		
設立年	2006年	業種	企画製造販売
従業員数	1人	資本金	-

企業概要

2006年の創業以来、主にオーダーメイドの高級婦人服、並びに高級婦人雑貨を取り扱い、ポップアップイベントにて企画卸、販売応援を行ってきました。2016年、初の自社ブランド「KIWAKA」を立ち上げ、独自に開発した「ジュエルジップトップ」と名付けたエレガントなファスナー引手がブランドの特徴です。「本物に拘りたい・今迄に無い価値をお届けしたい」という思いから2019年、ラグジュアリーブランド「TOSHIMI」を新たに発信。

TOSHIMI
Made in JAPAN

自社の強み

2016年、colussio KANDAは、創業90年を迎えるファスナーの老舗メーカーと、高い技術を持つ各種分野で活躍の職人達とチームを組み、エレガントなファスナー引手の開発をスタートさせました。（パテント申請意匠登録済み）独自に開発し【ジュエルジップトップ】と名付けた特徴あるファスナー引手を、一般的な「便利な部品としてのカジュアルなファスナー」から「社交界でも通じるエレガントなファスナー」に仕上げ、高級服飾雑貨と宝飾品の両方を兼ね揃えたブランドとなるよう【ジュエルジップトップ】をブランドの要として他社との差別化を狙います。



一押し商品

≪TOSHIMI≫Golden rose シリーズ

構想から約4年を費やし≪TOSHIMI≫のファインジュエリーは、唯一無二の新しい価値観をお届けします。

蕾が綻び始めた薔薇をイメージしたデザインのジュエルジップトップは、K18イエローGOLDのボリュームと、花びらに散りばめられた2.2ctのダイヤモンドの輝きが、凛とした美しいフォルムに仕上がっています。現物のサイズは、花径27.8mm、その高さは26.5mm。

金の量も57g使用しており、ひととき大胆でインパクトのある存在です。また、高品質なクロコダイルスキンを日本の高い技術力で鞣した「革」。これを贅沢に2頭分使ったクラシカルなパーティーバッグのフォルムは、和装洋装問わずお持ち頂けます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

オリジナルブランドを立ち上げるに当たり、どこから手を付けたら良いか悩んでいる際に、大阪商工会議所の経営相談室に訪れ、創業支援を受けたと伺いました。その創業支援を受ける中、ブランド名について、商標登録した方が良いとの創業支援担当者からアドバイスを受け、連携先である知財総合支援窓口へ相談にいられました。

最初の相談概要

当初、商標登録出願を検討していた「OBBIJIN」のロゴ・マークについて、先行商標の調査方法や出願の方法等、知財の権利化について支援しました。その後、プロジェクト名となる「OBBIJIN」のロゴ・マークは無事に商標登録に至りました。

その後の相談概要

大阪商工会議所と大阪デザインセンターの支援を受け、代表の出身地である和歌山にちなんだブランド名「KIWAKA」を立ち上げることになり、当窓口も前回と同様に商標登録支援を行いました。また、縫製会社、副資材会社、宝石加工会社の協力も得て、きらびやかな高野口パイルを使ったファーストブランド「KIWAKA」の製品が誕生しました。

窓口を活用して変わったところ

ブランド名を商標登録することが重要であるとの認識は、相談にいられた時からお持ちのようでしたが、商標権取得と、ブランド戦略の難しさを感じているようでした。しかし、当窓口や他の連携機関の支援を受けることで、自社ブランドを確立され、現在は大手ホテルにも出展しております。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商標登録を自身で行うとは夢にも思っておりませんでした。知財総合支援窓口担当者の丁寧な説明と指導のお陰で、只今、商標登録済2件と意匠登録出願中1件です。本当にお世話になっております。このような素晴らしい相談窓口が有る事を多くの方に知って頂きたいですし、是非活用して頂きたいです。

窓口担当者から一言（氏名：大澤 真一）



創業予定をされている方は、創業準備に時間を追われ、屋号やブランド名の商標登録を後回しにされることが多いと思います。よく、事業が安定してきたので商標登録をされたいと相談にいられる方もおられますが、すでに他者が商標登録をしていて、商標を変更せざるを得ない場面に出くわします。そうなる前にまずは、当窓口にご相談下さい。

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

office KANDA

所在地	大阪府大阪市		
ホームページ URL	http://www.obbijin.com/		
設立年	2006年	業種	企画製造販売
従業員数	1人	資本金	-

企業概要

2006年の創業以来、催事業界にて高級婦人服飾品の企画提案・卸・採寸及び販売応援を行ってきました。

その経験を活かし、2015年より新規事業「OBBIJIN」を立ち上げ、日本独自の伝統技術を活かした高級雑貨の開発に取り組んでおります。

2016年オリジナルブランド「KIWAKA」を立ち上げ、周囲の協力を得ながら、自身として初めてのプロダクトを世に送り出しました。

また、クラウドファンディング（Makuake）に出展し、大成功を収めました。現在、法人化に向け、活動しております。



自社の強み

起業後は、営業・商材のプレゼン・販売応援・商材の手配・事務仕事等を独力で行ってきました。また、これまで築き上げてきた豊富な人脈を活かし、事業運営上に生じる様々な課題に対して、柔軟に解決策を講じることが出来ました。独力では、なかなか前に進むことが難しい局面でも、乗り越えて行ける総合的な対応力・自身のバイタリティが強みと考えております。



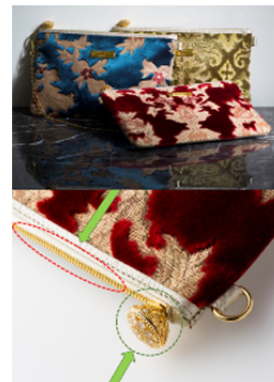
一押し商品

ファーストブランド「KIWAKA」の製品です。

ジップ部分には、ファスナーテープに珍しいサテン地を使用しております。金属部分も、「金華山織」の生地に相応しい深みのあるゴールド色に仕上げました。

更に、世界初となる直付けの特徴あるジップトップを装着しており、これを「ジュエルジップトップ（TM）」と名付けました。

この「ジュエルジップトップ（TM）」のデザインは、高級宝飾技術者に協力を依頼し、新導入の3Dの技術を活かし“金杯”をイメージしております。ここには、スワロスキー社のスワロフスキーを贅沢に9石付けております。和と洋の装い、どちらにも高品位な時間と満足を与えてくれます。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

オリジナルブランドを立ち上げるに当たり、どこから手を付けたら良いか悩んでいる際に、大阪商工会議所の経営相談室に訪れ、創業支援を受けたと伺いました。その創業支援を受ける中、ブランド名について、商標登録した方が良いとの創業支援担当者からアドバイスを受け、連携先である知財総合支援窓口へ相談にいられました。

最初の相談概要

当初、商標登録出願を検討していた「OBBIJIN」のロゴ・マークについて、先行商標の調査方法や出願の方法等、知財の権利化について支援しました。その後、プロジェクト名となる「OBBIJIN」のロゴ・マークは無事に商標登録に至りました。

その後の相談概要

大阪商工会議所と大阪デザインセンターの支援を受け、代表の出身地である和歌山にちなんだブランド名「KIWAKA」を立ち上げることになり、当窓口も前回と同様に商標登録支援を行いました。また、縫製会社、副資材会社、宝石加工会社の協力も得て、きらびやかな高野ロパイルを使ったファーストブランド「KIWAKA」の製品が誕生しました。

窓口を活用して変わったところ

ブランド名を商標登録することが重要であるとの認識は、相談にいられた時からお持ちのようでしたが、商標権取得と、ブランド戦略の難しさを感じているようでした。しかし、当窓口や他の連携機関の支援を受けることで、自社ブランドを確立され、現在は大手ホテルにも出展しております。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

商標登録を自身で行うとは夢にも思っておりませんでした。知財総合支援窓口担当者の丁寧な説明と指導のお陰で、只今、商標登録済2件と意匠登録出願中1件です。本当にお世話になっております。このような素晴らしい相談窓口が有る事を多くの方に知って頂きたいですし、是非活用して頂きたいです。

窓口担当者から一言（氏名：大澤 真一）



創業予定をされている方は、創業準備に時間を追われ、屋号やブランド名の商標登録を後回しにされることが多いと思います。よく、事業が安定してきたので商標登録をされたいと相談にいられる方もおられますが、すでに他者が商標登録をしていて、商標を変更せざるを得ない場面に出くわします。そうなる前にまずは、当窓口にご相談下さい。